

## 2007年度研究業績一覧

2007. 4～2008. 3

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・公演会等	発表年月
天野宏司 (准教授)	著書	『日本の諸地域を調べる』(分担執筆;第2章第3節 人口の歴史的变化を調べるー埼玉県を事例にー, pp.68-73)	古今書院	2007. 06
		『近代日本の地域形成』(分担執筆;第6 高圧送電網の形成と空間編成, pp.109-126)	海青社	2007. 08
	学会報告	北海道における郵便線路の成立と展開	郵便史研究会大会	2007. 10
		自転車と観光の親和性に関する研究 3ーサイクリトレインという社会実験ー	日本地理学会春季大会	2008. 03
		郵便線路図からみた公権力の空間認識	日本地理学会春季大会	2008. 03
	書評	青木栄一:『鉄道忌避伝説ー汽車が来た町、来なかった町』	新地理, 55 (1), pp.37-39	2007. 06
		川勝守生:『近世日本における石灰の生産流通構造』	多摩のあゆみ, 128, pp.106-107	2007. 11
		日外アソシエーツ編:『CDー県史誌 CDー県史誌 2 関東ー近現代(通史/資料)編』	歴史地理学, 49 (5), pp.69-71	2007. 12
		その他	天野宏司編:『「2007 スポニチ佐渡ロングライド 210」調査報告』	佐渡ロングライド事務局
	その他	天野宏司編:『「秩父サイクリトレイン」アンケート結果 中間報告書』, p.17	秩父サイクリトレイン実行委員会	2007. 11
		(財) 東京都市町村自治調査会多摩交流センター編:『地域の歴史を学ぶー「多摩の歴史講座」10年の記録ー』(第10回第4講 羽村発ー新田経由ー大木戸行ー玉川上水で結ばれた村と都市ー, pp.98-99)	(財) 東京都市町村自治調査会多摩交流センター	2008. 03
研究テーマ		歴史地理学・観光地理学		
石田栄美 (准教授)		論文	“眼球運動から見た子どもの絵本の読み方”(共著)	Library and Information Science. No.58, pp.69-90
学会発表	“学術論文 PDF 検索システムの開発と評価”(共著)	第55回日本図書館情報学会研究大会発表要綱, pp.57-60	2007. 10	
	“大学生は OPAC をどのように見ているのか”(共著)	第55回日本図書館情報学会研究大会発表要綱, pp.101-104	2007. 10	
	“画面遷移と利用者特性からみた大学生における OPAC の閲覧”(共著)	2007 年度三田図書館・情報学会研究大会発表論文集, pp.45-48	2007. 11	
	“生存分析からみた学術論文 PDF ファイルのクロールリング”(共著)	2008 年日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱, pp.67-70	2008. 03	

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・公演会等	発表年月
今村 庸一 (教授)	研究テーマ	テキスト自動分類、情報検索		
	その他	テレビふぁいる	共同通信社から各紙へ	2007. 04 }
岩熊 史朗 (教授)	研究テーマ	映像ジャーナリズム論、映像と国際関係論		2008. 03
	論文	パーソナリティと同一性	文化情報学：駿河台大学文化情報学紀要, Vol.14, No 2, pp.1-15	2007. 12
大久保 恒治 (准教授)	学会発表	パーソナリティの認知過程 (4) - 情報選択とパーソナリティ判断との関連 -	日本社会心理学会第 48 回大会発表論文集, pp.676-677	2007. 09
	研究テーマ	パーソナリティの認知過程、意味の成立過程		
大久保 博樹 (専任講師)	研究テーマ	文化情報の可視化、日本における文化・芸術の需要動向について、文化情報資源の動的活用		
大久保 博樹 (専任講師)	著書	平成 19 年度 わかる行政書士 予想問題集・一般知識編 (分担執筆：情報分野 pp.70-89)	住宅新報社	2007. 04
	論文	韻律の情報における階層構造と伝達の関係性	教育システム情報学会 (JSiSE) 研究報告 vol.22, No 1, pp.11-14	2007. 05
岡部 建次 (教授)		映像作品における音響情報と演出	文化情報学：駿河台大学文化情報学紀要, Vol.14, No 1, pp.31-38	2007. 06
		音声伝達の最適化構造に関する一考察 - 伝達する力を有する「話し方」の分析を中心に	情報文化学会誌 vol.14, No. 1, pp.39-44	2007. 09
	研究テーマ	デジタルコンテンツと IT、映像と音響のマルチモーダルコミュニケーション		
	学会発表	関根雅俊・永田大・岡部建次：Excel を利用した遺伝的アルゴリズムシステムの汎用化	日本経営工学会平成 19 年度春研究大会 (成蹊大学)	2007.5.12
	永田大・岡部建次：エクセルエージェントシミュレーションの体系化	日本経営工学会平成 19 年度春研究大会 (成蹊大学)	2007.5.12	
	関根雅俊・永田大・岡部建次：Excel を利用した汎用的遺伝的アルゴリズムシステムとその応用例	日本生産管理学会第 26 回全国大会 (名古屋工業大学)	2007.9.16	
	永田大・岡部建次：Excel エージェントシミュレーションシステムとその応用例	日本生産管理学会第 26 回全国大会 (名古屋工業大学)	2007.9.16	
	e-生産管理と情報システム開発 関東支部任意研究会活動報告	日本生産管理学会第 26 回全国大会 (名古屋工業大学)	2007.9.16	
	岡部建次・関根雅俊・永田大・宮崎茂次：表計算ソフト上の汎用遺伝的アルゴリズムシステムの作成 その 2 応用例とユーザーインターフェイスの工夫	日本生産管理学会第 27 回全国大会 (福岡工業大学)	2008.3.16	
	岡部建次・守屋康正・永田大：関東支部研究会「e-生産管理と情報システム開発」活動報告 2007 後半	日本生産管理学会第 27 回全国大会 (福岡工業大学)	2008.3.16	

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・公演会等	発表年月
加藤修子 (教授)	研究テーマ	表計算ソフトの高次利用の研究  表計算ソフト上の汎用な遺伝的アルゴリズムシステムの作成  表計算ソフト上を自由に動き回る知的エージェントモデルをプログラミングの知識なしでも作成できる方法の研究		
	研究テーマ	文化情報施設のサウンドスケープ・デザイン		
	著書	図書館概論(共著)(JLA 図書館情報学テキストシリーズ II) 部分執筆: 韓国の図書館, pp.243-247	日本図書館協会	2008. 02
	論文	韓国における記録管理専門職養成制度の現状	「アーカイブズ」 国立公文書館 第30号, pp.45-52	2007. 10
		韓国における図書館情報専門職養成制度の最新の状況、「特集」これからの図書館員制度-専門職養成を考える	「図書館雑誌」 日本図書館協会 Vol.101, no.11, pp.744-745	2007. 11
	研究ノート	主要国の司書養成教育及び資格・司書職制度の現況-韓国、米国、英国の中心に-	文化情報学: 駿河台大学文化情報学紀要, Vol.14, No 2, pp.35-45	2007. 12
	講演	日本の図書館情報学教育の現況	延世大学文献情報学科創立 50 周年記念講演 2006 年 6 月 2 日(韓国ソウル延世大学)	2006. 06
		主要国の司書養成教育及び資格・司書職制度の現況、平成 19 年度第 93 回全国図書館大会、(東京大会)第 6 分科会 図書館学教育部会、基調講演	日本図書館協会 東京、2007 年 10 月 30 日	2007. 10
	その他	韓国の図書館関連法規の最新動向	「カレントアウェアネス」国立国会図書館 第 239 号, pp.4-6	2007. 10
	研究テーマ	図書館情報政策、図書館・情報センター管理、情報専門職の教育・養成		
久我晃広 (准教授)	講演	スポーツと企業~ホッケーと飯能~	飯能地区雇用対策協議会研修会	2008. 01
	その他	女子ホッケージュニア日韓交流戦 女子ホッケージュニア日本代表チームコーチ	奈良県天理市	2007. 11
		女子ホッケージュニア韓国遠征 女子ホッケージュニア日本代表チームコーチ	韓国水原市	2008. 02
	研究テーマ	ホッケー競技におけるゲーム分析		
國分俊宏 (准教授)	訳書	『哲学者たちの動物園』(訳、ロベール・マジョーリ著)	白水社	2007. 06

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・公演会等	発表年月	
小林 侔史 (教授)	論文	「字義の意味と推論——関連性理論をめぐって」	文化情報学：駿河台大学文化情報学紀要, Vol.14, No 1, pp. 1-18	2007. 06	
		「翻訳と意味」	『駿河台論叢』(駿河台大学教養文化研究所) 第34号、pp.1-24	2007. 07	
		「流転する言葉の歌、または統合を拒否する非オイディプス——ドゥルーズ=ガタリからグラシム・ルカへ」	『水声通信』(水声社) 第20号、pp.115-122	2007. 10	
	その他	年鑑執筆「2006年フランス文学」の項	『ブリタニカ国際年鑑 2007年版』(ブリタニカ・ジャパン) pp.356-357	2007. 04	
	研究テーマ	現代フランス文学、翻訳論			
	研究テーマ	パーソナル・コンピュータ利用技術の普及			
	研究テーマ	現代ドイツ映画・演劇、ヨーロッパ児童文学			
	R. Sawazaki (准教授)	論文	An Analysis of Three Pilot Shared Reading Programs (単著)	文化情報学：駿河台大学文化情報学紀要, Vol.14, No 2, pp.17-33	2007. 12
			Supporting International Families Through a Community-Based Literacy Center (単著)	Forum Report & Proceedings, National Forum in Gunma: Creating a Multicultural Society Free From Bullying, 独立行政法人福祉医療機構、pp.121-130	2008. 03
		学会発表	「The Looking Glass : JALT 2007 Storyspace」	33rd annual JALT International Conference (全国語学教育学会)	2007.11.24
		「Once Upon a Time in an EFL Classroom : Stories as a window to culture and language」	Japan Association of Language Teaching (JALT) Gunma Chapter (全国語学教育学会群馬支部)	2008. 2.24	
講演		「Exploring English and Culture Through Stories」	駿河台大学春の公開講座：楽しく学ぶ英語 A (駿河台大学)	2007.7.7&14	
		「Supporting International Families through a Community-based Literacy Center」	National Forum in Gunma: Creating a Multicultural Society Free From Bullying. (独立行政法人福祉医療機構)	2007. 9.23	
研究テーマ		「Promoting Vocabulary Development and Self-Expression」	Ota Higashi SELHi English Teacher Training Seminar. (群馬県教育委員会)	2007.11.20	
研究テーマ	English education ; foreign language teaching methodology and materials development, bilingual education				

## 2007 年度研究業績一覧

氏 名	種 別	題 目	出版社・掲載紙・公演会等	発表年月
杉 江 典 子 (准 教 授)	論 文	病院情報に関するレファレンスブックの出版傾向と「病院ランキング本」の評価.	文化情報学：駿河台大学文化情報学紀要, Vol.14, No1, pp.19-29	2007. 06
		公共図書館における健康情報分野のレファレンスブック所蔵状況調査	現代の図書館(日本図書館協会). Vol.45, No. 3, pp.165-175	2007. 09
	訳 書	公共図書館員のための消費者健康情報提供ガイド. (共訳：Andrea Kenyon and Barbara Palmer Casini, The Public Librarian's Guide to Providing Consumer Health Information)	日本図書館協会, pp.11-35, pp.221-239 (2章, 8章翻訳担当)	2007. 04
	学 会 発 表	公共図書館における利用者の情報探索行動：半構造化インタビューに基づく質的分析	2008 年日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱. pp.27-30	2008. 03
	そ の 他	全国公共図書館協議会によるレファレンスサービス実態調査報告書	日本図書館情報学会誌(日本図書館情報学会). Vol.53, No.3, pp.185-186	2007. 09
	研究テーマ	公共図書館におけるレファレンスサービス、公共図書館における利用者の情報探索行動、市民への健康情報提供		
瀬 戸 純 一 (教 授)	論 文	行政介入の口実を与えた『発掘！あるある大事典II』の番組捏造	私学時代 07 年 5 月号(学図書館)	2007. 06
	講 演	新聞社説の読み方	駿河台大学春の公開講座	2007. 06
		ニュースの読み方	豊岡ブチ大学(いるプロ)	2007. 07 (2回)
	研究テーマ	ジャーナリズム、マスメディア		
高 橋 豊 美 (准 教 授)	論 文	Unique Path	音韻研究 第 11 号, pp. 3 -10	2008. 03
	学 会 発 表	Unique Path	Phonology Forum 2007 (日本音韻論学会).	2007. 08
		'Minimal' template satisfaction-a prosodic analysis of 'initial gemination'	CUNY Conference on the Syllable (CUNY Phonology Forum) .	2008. 01
	講 演	Contrastive phonetics of Japanese and English	UCL Summer Course in English Phonetics.	2007. 08
		通じる！聞き取れる！英語発音・聞き取りのコツ	駿河台大学公開講座「楽しく学ぶ英語」	2007. 10
	研究テーマ	音韻論・音声学		
塚 本 美 恵 子 (教 授)	学 会 発 表	「CATV 番組制作を通じたメディアリテラシー教育実践の試み」	日本教育工学会第 23 回全国大会講演論文集 pp.881-882	2007. 09
	そ の 他	「メディア教育 東奔西走 大学のゼミナールでCATV 番組制作 - 3 -」	放送批評懇談会『GALAC ぎゅらく』2007 年 9 月号 p.47	2007. 09
		「メディア教育 東奔西走 大学のゼミナールでCATV 番組制作 - 2 -」	放送批評懇談会『GALAC ぎゅらく』2007 年 10 月号 p.47	2007. 10

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・公演会等	発表年月
寺嶋秀美 (准教授)	研究テーマ	「メディア教育 東奔西走 大学のゼミナールでCATV番組制作-1-」	放送批評懇談会『GALAC ぎゃらく』2007年11月号 p.47	2007. 11
	研究テーマ	異文化間教育とメディアリテラシー		
杜正文 (教授)	研究テーマ	コンピュータネットワークと分散管理		
	その他	デジタルコンテンツにおける映像・音響の多様なコミュニケーションに関する基礎研究	平成19年度共同研究助成費研究報告書	2008. 03
戸村栄子 (教授)	研究テーマ	ユビキタス・ネットワーク社会の可能性、教育支援システムの開発		
	研究テーマ	放送の送り手と受け手について、韓国のメディア動向、映像アーカイブ		
野村正弘 (准教授)	著書	昆虫をかんさつしよう 改訂版	群馬県立自然史博物館	2007. 06
	論文	富岡～藤岡地域のカワヒバリガイ ( <i>Limnoperna fortunei</i> )	群馬県立自然史博物館調査報告書 No. 4, pp.40-47	2008. 03
	学会発表	群馬県内のカプトエビ ( <i>Arthropoda; Triopsidae</i> ) の生息調査	群馬県立自然史博物館調査報告書 No. 4, pp.48-53	2008. 03
		利根川・神流川の河川礫調査	群馬県立自然史博物館調査報告書 No. 4, pp.63-77	2008. 03
	講演	あさがおのかふん	日本顕微鏡学会第63回学術講演会写真コンクール	2007. 05
		“赤”ボールペンの先	日本顕微鏡学会第63回学術講演会写真コンクール	2007. 05
	その他	科学巡回展示「ミクロの世界」	サイエンスアゴラ (JST 地域科学館連携支援事業成果報告会)	2007. 11
		市民公開講座「ミクロの驚く世界～身近なものを電子顕微鏡で見てみよう～」講師	日本顕微鏡学会第63回学術講演会	2007. 05
	研究テーマ	夏休みサイエンスウィーク「ミクロの驚く世界～身近なものを電子顕微鏡で見てみよう～」講師	群馬県生涯学習センター少年科学館	2007. 08
		第28回企画展「鳥たちの世界～その秘密にせまる～」展示	群馬県立自然史博物館	2007. 09
波多野宏之 (教授)	論文	群馬百科事典(部分執筆, 14項目)	上毛新聞社	2008. 03
		自然系博物館の展示・研究・教育、地域の自然		
		アート・ドキュメンテーションの教育と研修-大学院レベルでの現職研修の可能性を求めて-	発現するドキュメンテーション-アート・ドキュメンテーション学会2007年度年次大会 [第54回研	2008. 6.23

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・公演会等	発表年月
	学会発表	MLAの融合と情報専門職－ミュージアム、ライブラリー、アーカイブズの未来－	研究会] 予稿集 pp.28-30 第3回駿河台大学大学院現代情報文化研究科シンポジウム「文化情報資源の蓄積・活用と法」(駿河台大学)	2007.7.14
		ボンピドーセンターと BPI の 30 年を読み解くために	日仏図書館情報学会 BPI セミナー「ボンピドーセンター公共情報図書館 (BPI) のもたらしたもの－30 年の軌跡と日本－」(日仏会館)	2007.10.27
		イントロダクション：文化情報学と映像	シンポジウム：デジタル映像アーカイブズの可能性－大学ミュージアム＝アーカイブズを考える III－駿河台大学「大学ミュージアム＝アーカイブズを考える」シンポジウム実行委員会：慶応義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構 (慶応義塾大学三田キャンパス)	2008. 3.15
	講演	博物館と情報	平成 19 年度市民学芸員第 4 期(博学連携 II 期) 養成講座 飯能市郷土館	2007. 6. 3
		オブジェクトとしての書物群－ミュージアムの中のライブラリー、ライブラリーの中のミュージアム－	2007 年度山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム研修会 (明治学院大学)	2008. 3.18
	その他	第 3 回駿河台大学大学院現代情報文化研究科シンポジウム「文化情報資源の蓄積・活用と法」(パネルディスカッション司会 駿河台大学)	第 3 回駿河台大学大学院現代情報文化研究科シンポジウム「文化情報資源の蓄積・活用と法」	2007. 7.14
		新たな情報基盤の創造：図書館、博物館、文書館の連携 (パネルディスカッション司会)	日本文化生涯学習振興会 21 第 3 回文字・活字文化シンポジウム「コミュニティ文化と図書館」(中央工学校)	2007. 7.28
		「展示会：刊行物に見るボンピドーセンターと BPI」の企画・開催	日仏図書館情報学会主催 (日仏会館図書室)	2007.10.22 -11. 1
		「ベシエールさんとの懇談会」報告	日仏図書館情報学会ニュースレター No.182, p.6	2008. 01
		シンポジウム：デジタル映像アーカイブズの可能性－大学ミュージアム＝アーカイブズを考える III－(パネルディスカッション司会)	「大学ミュージアム＝アーカイブズを考える」シンポジウム実行委員会：慶応義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構 (慶応義塾大学三田キャンパス)	2008. 3.15
	研究テーマ	アート・ドキュメンテーション、文化環境の日仏比較		

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・公演会等	発表年月
広瀬順皓 (教授)	著書	台湾総督府文書目録(共著) 第21巻	ゆまに書房	2007. 07
		台湾総督府文書目録(共著) 第22巻	ゆまに書房	2007. 10
		山県有朋関係文書(共著) 第3巻	山川出版社	2007. 12
	論文	官僚の日本近代史(16) 東京の都市計画をめぐる暗闘	「本」32巻4号, 講談社	2007. 04
		官僚の日本近代史(17) エリート意識の淵源	「本」32巻5号, 講談社	2007. 05
		官僚の日本近代史(18) 牧民官から行政官へ	「本」32巻6号, 講談社	2007. 06
		官僚の日本近代史(19) 官僚出身代議士の誕生	「本」32巻7号, 講談社	2007. 07
		官僚の日本近代史(20) 山県有朋から去った官僚	「本」32巻8号, 講談社	2007. 08
		官僚の日本近代史(21) 遅れてきた官僚たちの立志	「本」32巻9号, 講談社	2007. 09
		官僚の日本近代史(22) 山県と原の相互依存体制	「本」32巻10号, 講談社	2007. 10
		官僚の日本近代史(23) 内務省の膨張	「本」32巻11号, 講談社	2007. 11
		官僚の日本近代史(24) 二大政党化と内務官僚	「本」32巻12号, 講談社	2007. 12
		官僚の日本近代史(25) 新官僚と内閣調査局	「本」33巻1号, 講談社	2008. 01
		官僚の日本近代史(26) 日本人官僚と満州人政治家	「本」33巻2号, 講談社	2008. 02
		官僚の日本近代史(27) 日系官僚と関東軍	「本」33巻3号, 講談社	2008. 03
学会発表	大正期陸軍の親中国派の動向	互惠・合作・発展中の中日関係国際検討会(於遼寧大学(瀋陽))	2007. 09	
研究テーマ	近代日本における官僚と政治			
福永昭 (教授)	研究テーマ	地域観光開発、ホスピタリティ研究		
	学会発表	大正期における農村の乳児死亡率-発育と育児との関係からの検討-	歴史人口学セミナー(第32回研究会 於麗澤大学東京センター)	2007.11.24
村越一哲 (教授)	講演	既存目録情報のEAD/XML化のためのツール	歴史人口学セミナー(第32回研究会 於麗澤大学東京センター)	2007.11.24
		Excelを用いたEAD/XML化ツール-既存の目録情報活用のために-	人間文化研究機構国文学研究資料館・駿河台大学におけるミュージアム=アーカイブズの形成と教育・公開利用を促進するための基礎的研究 共同開催ワークショップ「EAD/XML データ編集の選択肢: 応用ソフトウェアとオンライン総合目録」(於駿河台大学法科大学院)	2008. 3.12
	研究テーマ	近代における mortality と女性労働		



氏 名	種 別	題 目	出版社・掲載紙・公演会等	発表年月
門 馬 幸 夫 (教 授)	論 文	江戸時代の武士人口と官僚制		
		インターネット上での記録史料情報の共有化		
	そ の 他	歓待と忌避あるいは文化と社会における互酬性－儀礼的身分と社会的身分への素描－	「日本民俗学」 252, pp.70-89	2007. 12
研究テーマ	都市寺院の社会的機能	「宗教学文献事典」 弘文堂	2007. 12	
		文化の観念と差別の社会学的研究		